

●劇場用オリジナル・アニメーション映画



めぞん一刻 完結篇

製作■多賀英典/監督■望月智充
(株)キティ・フィルム作品/配給●東宝(株)

原作■高橋留美子 マスターピース・ペアン

(小学館・刊)



199144-202

●劇場用オリジナル・アニメーション映画



「殺抱丸」
ちのこんが! 血染る成城の抱丸!

うろつやくら 完結篇

製作■多賀英典/監督■出崎 哲
(株)キティ・フィルム作品/配給●東宝(株)

▶解説

いま焦げ付きそうなくらい最も熱い注目を浴びる超人気漫画家・高橋留美子の、あの「めぞん一刻」が遂に劇場用アニメーションとしてお目見えだ！ 全15刊の原作コミックスは、1800万部もの驚異的ベストセラー、TV用アニメも茶の間を金縛りにする高視聴率番組である。

舞台は、一刻館なるちょっとガタのきたアパート。若き未亡人にして美しき管理人・響子さんと、誠実さだけが取り得のお人好しダメ男・五代くんは、不器用な恋の駆け引きを虚々実々繰り広げる毎日である。2人を取り巻くのは、日々は宴会のノ瀬おばさん、五代君の恋敵・三鷹君、お色気全開ホステス・朱美ちゃん、職業・年齢不詳の怪人・四谷など、過激に個性的な懲りない面々だ。彼らのおかげで、響子と五代のただでさえややこしい関係が、誤解と策謀の中、破局の土俵際まで陽

気にこじれてゆくのである。それは一刻館では日常茶飯事、傍目で見ている限り、抱腹絶倒ちょっぴり涙の明るく楽しい生活空間なのである。

さて、今回の映画化では、何と、原作でもTVでも描かれなかったオリジナル・エピソードを公開する。響子と五代の挙式をいよいよあさってにひかえた夜、一刻館の住人たちは七年間の総決算とばかりに大宴会を催す。その狂乱の中にあって、響子はひたすら誰かからの手紙を待っていた。不審に思った五代は、一誰か他に男がいるのでは一酔漢達の不吉で無責任な推理に、不安をあおられてゆく。響子の秘密とは何か…？ 原作、TV放映で長く愛されてきた「めぞんサーガ」は、いま初めて明されるこの「一刻館秘話」をもって、スクリーンに完結されるのである。乞御期待！

スタッフ
原作●高橋留美子
うる星やつら「ボーイミーツガール」より
(小学館/少年サンデー・コミックス刊)
製作●多賀英典
監督●出崎哲一
企画●落合茂一
プロデューサー●松下洋子
田原正利
●金春智子
脚本●金春智子
キャラクターデザイン●四分一節子
絵コンテ
レイアウト構成●清水恵蔵
作画監督●小林ゆかり
美術監督●新井寅雄
美術監督●新井寅雄
撮影監督●小山信治
録音監督●斯波重治
アニメーション
制作プロデューサー●松崎義之
制作協力●株式会社バスマジックパス
主題歌●麻田華子
(ビクター音楽産業)
音楽●大森俊之
(サントラ盤/キティ・レコード)
株式会社・フィルム作品
配給●東宝株
声の出演
ラム●平野文
あたる●古川登志夫
終太郎●山谷明子
しのぶ●島津冨子
サクラ●尾野真知
メガネ●千葉繁
テン●杉山佳寿子
錯乱坊●永井一郎
ルバ●塩沢兼人
カルラ●井上通他



めぞん一刻

完結篇

スタッフ
原作●高橋留美子
(小学館/ビッグコミックス刊)
製作●多賀英典
監督●望月智充
企画●落合茂一
プロデューサー●松下洋子
脚本●島田智充
キャラクターデザイン・
作画監督●もりやまゆ宏
美術監督●小倉宏
撮影監督●金子重治
録音監督●斯波重治
アニメーション
制作プロデューサー●岡村雅裕
制作協力●垂細堂
主題歌●姫乃樹リカ
(キティ・レコード)
音楽●森英治
(サントラ盤/キティ・レコード)
株式会社・フィルム作品
配給●東宝株

声の出演
音無響子●島本須美
五代裕作●二又一成
四谷●千葉和也
一の瀬●青木和子
六本木朱美●三田ゆう子
八神いぶき●三浦あづさ
三鷹 瞬●神谷明子
九条明日菜●鶴ひろみ
二階堂●堀川亮他



新市街
63.2.6
シネロマン

▶解説

別れを告げる時が来た。長い間、好評に好評を重ねて続けたスーパーアニメ「うる星やつら」が遂に完結する。本シリーズは、異星人エルとラムのあたる争奪戦を描いたパート1を皮切りに、レギュラーメンバー全員が夢の世界へ迷いこむ2、呪いのガラス玉が時空を狂わす3、友引町が思考力を持つ4など、ファンタジーからハードSFまで、様々な方向へ思考実験を挑んできた。どんな次元にも翔べるのが「うる星」の凄味であり、新作ごとに驚嘆と絶賛で迎えられた。

そして、今回の第5弾がラストショー。ファンの熱望に応え、うる星ワールドの核(ラムとあたるの愛のスラブスティック)に照準を絞りこんで、大切り/大団円/クライマックス/である。原作中もっともスケールの大きい最終話「ボーイミーツガール」を映画ならではの豪華スペクタクルに仕立てて公開してしまうのだ。

前半は、強制結婚のため異星に拉致されたラムの救出作戦、後半は、地球の命運と2人の愛を賭けたラムとあたるの凄絶なる鬼ごっこ!? 異して、あたるはラムに「好きだ」のひとことを言うのか、甘くコミカルなサスペンスが全篇を貫く。嫉妬と誤解に彩られた2人のラブテーマは、ののしり合いの磁気嵐の中、他人の迷惑を省ず、宇宙的規模へと勝手に膨張してゆくのである。

もちろん、しのぶ・面堂・錯乱坊・サクラ・テン・弁天・おユキ・ラン等、オールスター勢揃いの騒々しい顔見世は用意万端だ。

全34刊2200万部のベストセラーとなった高橋留美子の原作、高視聴率をあげたTV放映は既に終了しており、この映画がホントの最後の完結となる。いま、サヨナラを告げるために、笑いと涙が充満した愛のブラックホールは銀幕に大口を開け始めた。「うる星やつら」よ永遠に！